

トヨタ生産方式で 現場を **カイゼン**



トヨタ自動車株式会社
新事業推進部
アグリバイオ事業室
現場改善グループ

会社概要

会社名：トヨタ自動車株式会社

創 立：1937年8月28日

資本金：6,354億円（2024年3月末）

従業員：70,224人（2024年3月末）



トヨタの想い

企業理念

各地域の文化、慣習を尊重し、地域に根ざした企業活動を通じて経済・社会の発展に貢献する

■ 目的

農業の持続的成長に向けて、生産者の困りごと解決

■ ねらい

トヨタ生産方式の考え方を農業に応用し、
魅力ある農業と人づくり・地域づくりに貢献

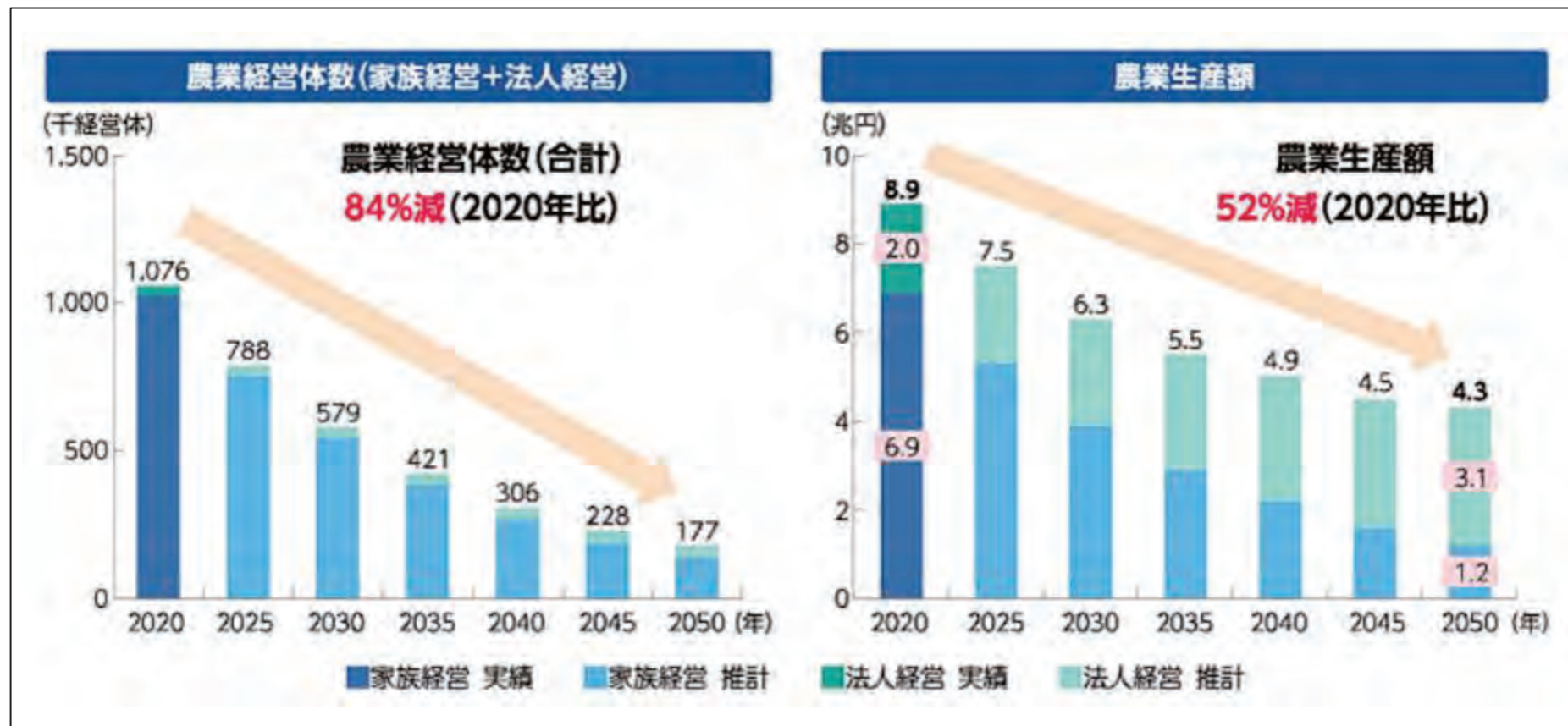


TOYOTA

©2025 Toyota Motor Corporation

日本の農業の課題：生産性の向上

農業経営体数・農業生産額は大幅に減少すると予測される。
日本の農業の競争力強化のため、**生産性の向上**が急務。



出典：三菱総合研究所
<https://www.mri.co.jp/knowledge/mreview/2022122.html>

活動の柱

自動車製造で培ったトヨタ生産方式を農業に応用。**ムダの徹底排除**により原価低減

ト
ヨ
タ
生
産
方
式

ジャストインタイム
必要なものを必要なときに
必要なだけ造る・運ぶ

自働化
品質は工程で造りこむ

ム
ダ
の
徹
底
排
除

品質向上、生産性向上など
原
価
低
減

活動のステップ

- 基礎学習・2S・見える化で土台をつくり、小集団活動によって改善の定着化を目指します

土台づくり



改善の実践・定着化（小集団活動）



2S（整理・整頓）

1S（整理）：「いるもの」「いないもの」を明確に分ける

2S（整頓）：整理したものをいつでも使えるようにする



一人一人が異常に気づく

見える化

■ 異常を見える化

[illegible]

見える化 → 異常の早期発見・対策

小集団活動

- トヨタの課題解決手法による小集団(3～4名)での改善



全員参加で意見を出し、人材育成が図られる職場風土づくり

改善事例

トヨタ生産方式の観点に基づき、様々な工程において改善を実施

販売

【ねらい】
在庫低減



【実施内容】
ボードによる見える化



生産

【ねらい】
一人当たりの作業時間低減



【実施内容】
治具による効率化



物流

【ねらい】
出荷作業の効率化



【実施内容】
レイアウト変更・動線短縮



資材

【ねらい】
資材廃棄量の低減



【実施内容】
肥料在庫見える化

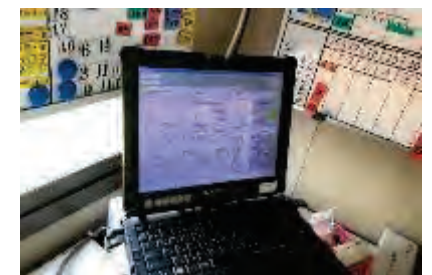


事務処理

【ねらい】
受注管理改善



【実施内容】
IT活用



【改善事例】2Sによるインプルメント交換時間の短縮

改善前

インプルメント交換時に使用するキャスターが散乱しており、毎回探していた。



使うのは
どれ？



準備時間
20分／回

改善後

置場と表示を明確にして、すぐに使えるようになった。



イレクターパイプで置場制作



ナンバリングして管理

準備時間
5分／回

探すムダ
削減！

【改善事例】乾燥調製総労働時間削減

■ 乾燥機の稼働状況がわからず稲刈作業

改善前



生粃が滞留！！

- ・長時間労働
- ・ミスの常態化



【改善前】
1,750
時間

■ 乾燥機の稼働状況、粃の投入先が見える化

改善後



乾燥機管理板				
乾燥機 No	圃場	投入時間	完了予定	
1	A	●/▲9:30	●/▲17:30	
2	C	●/▲10:30	●/▲18:30	750 ~
3	E	●/▲12:30	●/▲19:30	850 ~

ボードによる見える化

計画通りに
刈取りするぞ！



作業の整流化
ができた！



【改善後】
800
時間

【改善事例】レンコン出荷作業の効率化

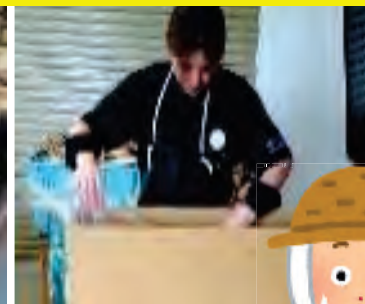
■ 特定の人が抜けると出荷作業停止（ノウハウが1人に蓄積）

改善前

選別作業3人
(パート従業員)



出荷先の規格ごとに箱詰め作業実施



特定の作業者に作業負荷が集中！
箱詰め作業：1人（ベテラン従業員）



【改善前】

600
Kg/日



■ 誰でも行えるよう作業を標準化

■ 選別・箱詰め作業が一人で出来る様にレイアウト変更

改善後

● 標準化

- ・製品規格に基準を設定、見本作成
- ・箱詰めに関する作業業指示書を作成



基準見本（選別基準）

● レイアウト変更

- ・ベテラン従業員が抜けても出荷作業を止めない



選別

箱詰



選別

箱詰



選別

箱詰



選別

箱詰

【改善後】

800
Kg/日

今後の農業の発展に向けて

農業大学校や就農支援センターでの就農希望者向けの教育に加え、
自治体・JAの指導員に対する階層教育など、**教育支援制度の拡充**をご提案致します。

生産性向上に向けた教育支援制度の拡充

就農希望者向け教育 (農業大学校、就農支援センターなど)



2S(整理整頓)の実践



作業要領書を用いた作業指導

【引用】山口県農業大学校
<https://www.yamaguchi-noudai.jp/20240813102727>

農業指導員向け教育 (自治体普及指導員、JA営農指導員など)



ネギの出荷調製の効率化指導



農業士会での成果報告

【引用】農林水産省
https://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/hukyu/h_zirei/r4/attach/pdf/r4-122.pdf